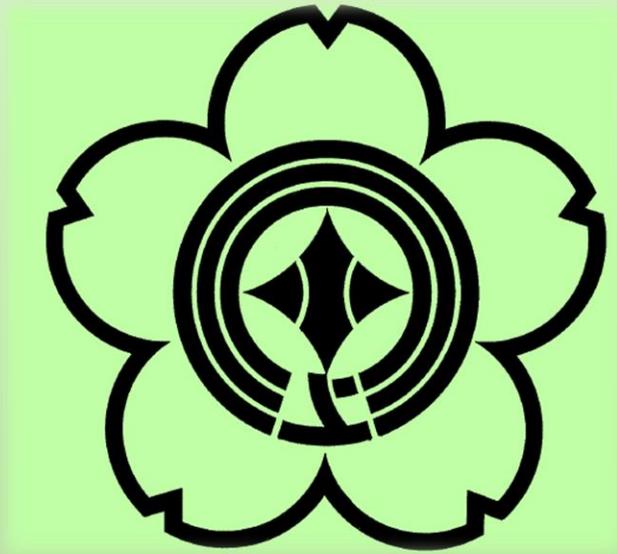


令和5年度

学校評価【前期】結果



岩国市立川上小学校

学校教育目標（小中一貫教育目標）

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

経営方針

めざす学校像	3つの元気がある学校（子ども、家庭・地域、教職員）
めざす児童像	主体的な子ども：気付き・考え・行動する かしこい子（知）、やさしい子（徳）、たくましい子（体）
めざす教師像	自ら学ぶ教職員、協働する仲間、ワーク・ライフ・バランス
めざす家庭・地域像	ともにある、つながり、コミスクの充実

本年度努力点

<川上っ子チャレンジ目標>

- 1 相手の目を見て、あいさつプラスワンをします
- 2 工夫しながら自主学習をします
- 3 始まりと終わりの時刻を守ります

<小中一貫教育共通取組事項>

- 手を置き、目を向け、最後まで聞こう
- 進んであいさつをしよう
- 黙って掃除をしよう
- 時間を守ろう

3つ（子ども、家庭・地域、教職員）の元気がある学校を目指した重点取組事項

重点取組事項			実践内容	
子どもが元気	主体的な子ども		○学校教育活動・家庭生活での啓発	
	かしこい子	学習指導	○読む・聞く、理由をつけた説明力 ○多様な考えもつための関わりの場	
			○めあて・まとめ、振り返り ○朝学習、家庭学習、自学ノート	
	しんたくい子	体力向上	○マイスポーツ、朝運動、全校遊び ○早寝、早起き、朝ご飯（基本的な生活習慣）	
	やさしい子	生徒指導	あいさつ	○あいさつ+αプロジェクト
			なかよく	○授業、児童会活動、休み時間
			規範意識	○始まりと終わりの時刻厳守 ○掃除・委員会活動
			いじめ	○いじめ防止宣言（開発的生徒指導）
家庭・地域が元気	地域連携	コミスク	○地域に元気を届ける活動 ○地域貢献意識 ○情報発信	
		ひと・もの・こと	○小小連携、小中一貫、地域協育ネット ○学校・地域協働活動 ○ひと・もの・こと	
教職員が元気	人材育成	資質・能力向上	○授業改善、研修会開催・参加 ○協働、総ぐるみの学校運営	
		働き方改革	○ワーク・ライフ・バランス	

学校教育目標・アンケート項目 対応表

		アンケート肯定的評価		90%以上	80%～90%	70%～80%	60%～70%	60%未満	
		実践内容	NO	関連	児童アンケート		保護者アンケート	教職員アンケート	
子どもが元気	かしのこ	主体的な子ども	学校教育活動・家庭生活での啓発	1		学習や生活の中で、「気付き・考え・行動する」ことができている。	お子様は、学習や生活の中で、気付きをもったり、自分で考えて行動したりすることができている。	児童の気付きや考えを生かす教育活動を仕組むことができている。	
			授業改善	読む・聞く、理由をつけた説明	2	小中	学習や生活の中で、話し手を見て話を聞くことができている。	お子様は、学習中、話し手を見て話を聞くことができている。	相手や目的を意識して対話できる教育活動を仕組むことができている。
				多様な考えもつための関わりの場	3		自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができている。	お子様は、自分の考えや意見に理由をつけて相手に伝えることができている。	自分の考えを根拠をもって伝えることができる対話場を学習活動に設定することができている。
					4		友達の意見を聞いたり、タブレットで調べたりしながら、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができている。	お子様は、他者の考えや意見を踏まえたり、自分から調べたりしながら、学習に取り組むことができている。	多様な他者とのかかわりの中で、児童が考えを深めることができる学習活動の在り方を工夫することができている。
				学習指導	めあて、まとめ、振り返り	5		目標をもって学習に取り組み、最後に振り返ることができている。	お子様は、目標をもって学習や活動に取り組み、振り返ることができている。
			朝学習、家庭学習、自学ノート		6	チ	言われなくても宿題に取り組んだり、工夫しながら自主学習に取り組んだりすることができている。	お子様は、声をかけなくても宿題に取り組んだり、工夫しながら自主学習に取り組んだりすることができている。	家庭学習に、進んで取り組んだり工夫しながら取り組んだりできるような学習支援や評価ができている。
	たくましいこ	体力向上	マيسポーツ、朝ランニング	7		体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができている。	お子様は、体力を高めるために、目標をもって生活（マيسポーツプロジェクト等）をすることができている。	児童の体力の現状と課題を把握し、児童が目標をもって体力向上に取り組む場の設定や評価ができている。	
			早寝、早起き、朝ご飯（基本的な生活習慣）	8		早寝、早起き、朝ご飯ができている。	お子様は、早寝、早起き、朝ご飯など、基本的な生活習慣を意識して生活することができている。	基本的習慣が定着する仕掛けの設定や評価ができている。	
	やさしいこ	生徒指導	あいさつ	あいさつ+αプロジェクト	9	チ・小中	相手の目を見て、進んであいさつをしたり、あいさつプラスワンをしたりすることができている。	お子様は、進んであいさつをすることができている。	主体的にあいさつやあいさつプラスワンができる場の設定と評価に取り組むことができている。
				なかよく	授業、児童会活動、休み時間	10		みんなとなかよ（みんなが楽しくなるように考えて）遊ぶことができている。	お子様は、誰とでも分け隔てなくなかよく遊ぶことができている。
			規範意識	始まりと終わりの時間を守る	11	チ・小中	時間やきまりを守ることができている。	お子様は、時間やきまりを守って生活をすることができている。	きまりの遵守や規範意識を育てる場の設定と評価に取り組むことができている。
				掃除・委員会活動 等	12	小中	無言で掃除をしたり、進んで委員会や係の仕事をしたりすることができている。	お子様は、進んで働くこと（お手伝い等）ができている。	主体的に働くことができるような、場の設定と評価に取り組むことができている。
			いじめ	いじめ防止宣言	13	い	川上小は、誰かにいじめられたり誰かをいじめたりすることのない「いじめやいじりのない学校」だと思う。	学校は、いじめ防止対策や教育相談体制を整え、子どもにとって学校が安心・安全な環境となっている。	いじめ防止基本方針に則り、全教職員で連携して、児童理解と開発的の生徒指導に取り組むことができている。
	家庭・地域が元気	地域連携	コミスク	地域に元気を届ける活動	14		川上地域に「元気」を与える活動ができている。	学校は、郷土（川上・周東・岩国）に誇りと愛着をもてるように教育活動に取り組んでいる。	ふるさとを愛する心を育む教育活動や指導場面の工夫ができている。
				地域貢献意識	15		地域や地域の人のために、何かをしたいと考え、行動することができている。	学校の教育活動は、地域や地域の方々に元気を与えるための工夫ができている。	学校の教育活動は、地域や地域の人に元気を与えるための工夫ができている。
				情報発信	16		学習したことを、お家の人や地域の人に、伝えることができている。	学校は、学校の取組や児童の様子について、学校だよりやホームページ、地域の回覧等、様々な方法で情報発信をすることができている。	学校の取組や児童の様子について、学校だよりやホームページ、地域の回覧等、様々な方法で情報発信をすることができている。
			ひと・もの・こと	小中連携、小中連携、地域協育ネット	17		中学校や他の小学校の先生に教えてもらったり、他校の子どもたちと交流したりするのは楽しい。	学校は、周東町の中学校や他の小学校と連携した活動に取り組んでいる。	小中一貫教育を意識した小中連携や小中連携の取組を進めることができている。
				学校・地域協働活動	18		学校で、お家の人や地域の人と一緒に授業やいろいろな活動をするのは楽しい。	学校は、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育活動に取り組んでいる。	保護者や地域の意見・要望も踏まえながら、家庭・地域と連携した教育活動に取り組むことができている。
				ひと・もの・こと	19		川上の「人・もの・こと」の素敵について、説明することができる。	学校は、地域の「人・もの・こと」を活用しながら教育活動に取り組んでいる。	コミスクの仕組みを生かし、「人・もの・こと」を教育活動に組み入れた教育課程編成ができている。

かしこい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 話し手を見て話を聞くことができる。	100%	58%	80%
2 自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができる。	83%	67%	80%
3 友達の意見や調べたことともに、自分の考えを深めたり、新しい考えに気付いたりすることができる。	83%	50%	60%
4 目標をもって学習に取り組み、自分の学びを振り返ることができる。	83%	67%	80%
5 進んで宿題に取り組んだり、めあてをもって自主学習に取り組んだりすることができる。	100%	42%	80%

<分析>

- + 話し方・聞き方、めあてを意識した学習、学びの振り返り、家庭学習への取組等、学び方全般について、児童の肯定的評価が高い。特に家庭学習の取組については評価が高い。
- ▽ 家庭学習の評価については、児童と保護者の評価に顕著な差が見られる。

<今後の方向性>

- 児童の意見も取り入れながら、家庭学習パワーアッププロジェクトを見直し、改善していく必要がある。（※熟議への児童の参加）

たくましい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができる。	83%	58%	80%
2 早寝、早起き、朝ご飯（基本的な生活習慣）ができる。	83%	50%	80%

<分析>

- + マイスポーツプロジェクト、朝ランニング、全校遊び等の取組から、進んで運動することや基本的な生活習慣についての児童・教職員の肯定的評価は高い。
- ▽ 家庭での実践は個人差が見られる。

<今後の方向性>

- 「マイスポーツプロジェクト」を効果的に活用し（児童の振り返りを活かす、教職員や保護者の価値づけ等）、体力向上や生活習慣の定着を図る。

やさしい子

評価規準	児童	保護者	教職員
1 進んであいさつやあいさつプラスワンをすることができる。	100%	92%	100%
2 みんなとなかよく（みんなが楽しめるように）遊ぶことができる。	100%	83%	80%
3 時間やきまりを意識して行動することができる。	100%	33%	80%
4 無言で掃除をしたり、進んで委員会の仕事（家ではお手伝い）をしたりすることができる。	83%	42%	80%
5 誰かにいじめられたり、誰かをいじめたりすることのない、いじめやいじりのない学校である。	100%	92%	100%

<分析>

- + やさしい子の全項目について、児童の肯定的評価が高い。
- + あいさつ、いじめのない学校についての項目は、3者が共通して肯定的評価が高い。
※ 毎日のあいさつプラスワンプロジェクトや週1回の情報共有会の成果
- ▽ 時間やきまりを守ることや働くことについての項目は、学校と家庭の評価に差が見られる。

<今後の方向性>

- メディアコントロール週間（中学校区の取組）や「マイスポーツプロジェクト」の効果的活用（家庭と連携した価値づけや評価）を図る。

地域連携教育

	評 価 規 準	児童	保護者	教職員
1	川上地域に「元気」を与える活動ができている。	100%	100%	100%
2	子ども、教職員、保護者他学校関係者は、地域のために、何かをしたいと考え、コミスク運営ができている。	83%	100%	100%
3	学校（児童）は、コミスクとしての取組情報を発信することができている。	83%	100%	100%
4	小小連携や小中一貫、地域協育ネットを生かした教育活動ができている。	100%	100%	80%
5	家庭、地域と連携した教育活動ができている。	100%	100%	100%
6	地域の「人・もの・こと」を活用して教育活動に取り組むことができている。	83%	100%	100%

<分析>

- + 学校地域連携教育活動の全項目において、児童・保護者・教職員の肯定的評価が高い。
- + 項目2の地域貢献意欲や項目6の川上のよさを説明することについては、昨年度より児童の評価も高くなっている。（R4後期 2：63% 6：50%）
- ▽ 児童数や家庭数、教職員数の減少などにより、従来の方法では、活動や支援が今後次第に難しくなると予測されるものもある。

<今後の方向性>

→ 学校地域連携教育を見直し、持続可能な教育活動にブラッシュアップしていく必要がある。

学校評価（前期）総括

【かしこい子】

- ◇ 児童の意見も取り入れながら、「家庭学習パワーアッププロジェクト」を見直し、改善していく。→ 児童の熟議への参加

【たくましい子】 【やさしい子】

- ◇ 「マイスポーツプロジェクト」の活用方法を工夫し、体力向上や生活習慣の定着を図る。→ 家庭と連携し声かけや価値づけを行う、児童の振り返りを活かす 等

【やさしい子】

- ◇ 「あいさつプラスαプロジェクト」を継続し、コミュニケーション力を更に高める。→ よさを伸ばし、自己肯定感を高める。

【地域連携教育】

- ◇ 今後も川上のよさを生かした持続可能な学校地域連携教育活動となるように、学校・家庭・地域でブラッシュアップを図る。